

# 令和元年度 事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人サポネットおごおり

## 1. 事業の成果

令和元年度は、例年同様に「相談支援」、「地域活動支援センター I 型」（オープンスペース）、「移送サービス」の 3 部門それぞれに目標と責任分担を明確化して連携しながら活動を行った。

各部門の内訳として「相談支援」部門は、育休職員が復帰し相談支援専門員 7 名体制にて内 1 名を一般相談の相談員とした。このメンバーで「生活支援事業」「相談支援」「計画相談」「認定調査」「自立支援協議会事務局」「うつ病家族広場」「グローバルネットワークおごおり」「地域交流活動」「地域支援活動」の 9 本立ての活動を行った。月 2 日の閉所日（第 2 日曜日・第 4 水曜日）以外は相談支援専門員が常駐し、基本相談や来所できない人への訪問や同行、会議等をスムーズに行った。また、専用相談室があり急な相談や来客、休日等に即対応している。

「生活支援事業」では、「本人活動支援事業」として各団体の支援や個人活動支援、「ボランティア活動支援事業」として行事へのボランティア要請を行うと共にボランティアの育成を行った。「福祉機器リサイクル事業」では、広報誌や掲示板を利用して関係機関への周知を行ない、提供 15 件（車いすや読書拡大機、ポータブルトイレ、紙おむつ等）（7 品目 20 点）、譲渡 14 件（7 品目 20 点）のリサイクル斡旋を行った。車いすの貸し出しを 4 件行い、新たに車いす用スロープの貸し出しを市内中学校より依頼があり、1 件行った。課題としては、以前と同様にリサイクル機器の常設会場がない為、大型の福祉機器は提供者宅に保管したままで、見本がない状態での斡旋になり譲渡の調整に時間がかかることが多くあった。

「相談支援」については、7 名の相談支援専門員で 1 名を一般相談の相談員、6 名を相談支援専門員（知的・身体・精神）として、6,948 件（延べ件数）の相談に対応した。内訳は来所相談 575 件、電話相談 3,660 件、訪問 882 件、同行 365 件、支援会議 121 件、関係機関 1,235 件、メール 110 件（全て延べ件数）となっている。同時に県や地域の勉強会等への参加を推進し、障がい者支援のレベルアップを行っている。

「計画相談」は 6 名の相談支援専門員（知的・身体・精神）を固定し、各自上限件数を決めて対応を行った。633 件【内訳、新規 25 件（実人数 25 名）、更新 294 件、モニタリング 314 件】を実施した。計画作成に伴う支援会議や自宅訪問、更にモニタリング等の事業者訪問や同行等で外出が多くなり、毎月の計画相談件数をセーブしなければ、対応が難しい時もあった。報酬改定により事業所加算や

新設加算があり収益増となったが、市内に計画相談を行う事業所が少ないため、利用者さんとの関係にて引き受けざるを得ない件数があり苦慮した。その為、相談支援専門の計画数が多くなっている。

「認定調査」は、3障害合せ141名の調査を行った。6名の調査員が障害種別それぞれの専門性を活かして対応した。急な調査依頼への対応や調査場所については自宅より施設が多くなり、訪問・同行・支援会議と重ならない為の日程調整に苦慮した。

「自立支援協議会事務局」については13年目となり、毎月1回の「運営会議」の他、「ネットワーク会議」「学校教育連絡会」「各ワーキングチーム」(WT)を実施した。障害当事者を含む市内障害者関係機関による「ネットワーク会議」は、年3回開催した。内容として、災害時における対応や地域生活支援拠点事業について地域の資源の把握を行った。それにより「就労WT」「児童WT」「相談支援WT」「生活WT」の4つのWTにて、独自に勉強会(年3~8回)を行った。昨年から実施するイオン小郡店での「小郡・まごころマルシェ」は年2回の恒例となり非常に評判が良く、数点は市のふるさと納税の返礼品となっている。「全体会」については、2回実施する。昨年度末からの新型コロナウイルスの影響で運営会議が出来なくなりコア会議に切り替えて実施した。

「学校教育連絡会」については、8月に実施し34名の参加があった。市内保育園・幼稚園、小・中・高校・特別支援学校の先生方や障がい福祉課、子育て支援課、教育委員会の担当者の参加、及び児童WTの担当者が初めて参加し、市内に新設された事業所の紹介や利用方法、学校での気になる子供さんへの対応等の意見交換会を行なった。その際、出てきた困難事例については各機関(子育て支援課、障がい福祉課、教育委員会、サポネットおごおり)等と連携しながら対応している。市の縦型の組織を横に繋げ、地域資源を活用することで、障がい児や家族が案心して生活しやすい地域になるのではと考える。

「うつ病家族広場」については、平成22年1月より、毎月1回実施している。スタッフはサポネットから2名、市福祉課から1名。今年は10年目となり延べ64名の家族の参加があった。参加人数の減少もあり、開催の頻度や曜日など今後も要望などを聞きながら形態を考えながら家族のニーズに応じて行きたい。

「グローバルネットワークおごおり」で行う障害児の長期休暇中(春休み・夏休み・冬休み)のデイサービス事業は、毎回利用する保護者へは年間予定表を渡して利用しやすい様にしているし、新しい障害児の参加もあっているが、本年度は新型コロナウイルスの影響でスプリングスクールを中止とした。以前に比べて参加者減少が見られ理由として、市内に障害児を受け入れる事業所が増え、そちらへの移行が考えられる。反面、ボランティアが2~3名体制で行えるため、利用者や家族からは高齢者や若い生徒や学生さんのボランティアを非常に喜ばれている。同様に、ボランティアを続けた生徒や学生さんが市内外の障がい児者施設や事業所へ就職している事は非常に喜ばしい事である。ボランティア育成の目的も

達成していると思われる。

「**地域交流活動**」については、障害児（者）の啓発活動の一環として、市内外からの個人・団体の見学や小・中・高生の実習受け入れや講師派遣を行った。特に市内中学校（宝城・大原・三国）が固定して来たと思われる。また、小郡三井郡小学校教育研究会特別支援教育部研究会へも講師に伺い、その後の支援へと繋がっている。

「**地域支援活動**」についても、小郡市内の各障害者団体との自立支援協議会を通じて連携も密に取れるようになり、その団体に応じたいろいろな支援が出来たとと思われる。

次に「**地域活動支援センター I 型**」（オープンスペース）では、常時 2 名以上の職員を配置し、「いつでも行ける場所」「いつでも相談できる場所」として定着してきた。本年度は、オープンスペース担当職員を相談支援専門員が兼任し、職員と同時にスタッフの人手不足の時は有償ボランティアをお願いし、必ず 2 名のスタッフを配置とした。平日はもちろん、土・日・祭日には市外（久留米市等）や県外（鳥栖市等）からも来所があり、障害児・者やその家族・知人等、通所施設の利用者や就労している人が気軽に行ける場として、不可欠な場所となっている。

来訪者数は 4,492 名（延べ人数）だった。市内に障害者施設が増えてきた為か、平日の日中は少なく、事業所が終了した後からの利用が多くなる。休日は朝から利用者が非常に多く 1 日を通して 20 名以上になることが多い。定例の行事（昼食会・レク会等）への参加は毎月 20 名~30 名ほどあり、オープンスペースが混雑する場合は、あすてらす館内のゾーン（温泉・エントランスホール）を利用して過ごされている。また、本年度はイベントの日を設けたりレクリエーションの内容を変えたりと利用者の要望を入れた内容で対応している。新型コロナウイルスの影響で年度末の 2 日間（日曜日・祭日）、臨時休館とした。

最後に「**小郡市福祉有償運送事業（移送サービス）**」については、運転手 7 名、（専任 4 名、兼任 3 名）、車いす対応車両 3 台体制で行い、無事故・無違反（道路交通法第 72 条第 1 項）を続けている。本年度は日本郵便年賀寄付金配分事業へ車両購入申請を行い 3 月末に認可を頂いた。昨年末から故障が相次ぎ利用者送迎中に故障し車を入れ換え対応していたが、令和 2 年度は新車（シエンタ）にて安心・安全な運行が出来、利用者さんから喜ばれる事と思われる。また、年度末の新型コロナウイルスの影響にて利用者さんの通院や外出が減り利用回数が減少した。

令和元年度の利用登録者は 247 名、移送回数は 延べ 5505 件（昨年より 534 件増）となり総収益（移送代金と年会費）は 3,579,400 円となった。

3 台体制のため、予約時点で調整を行なうことで早朝の対応も行ない、障害（身

体・知的・精神・児童・特定疾患)に応じた対応(介助)にて、安心して乗車して頂けると考える。その反面、維持経費(人件費や燃料費等)もあり、タクシー料金の半額という利用料金では収益は出ず本年度も実質赤字になっている。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動法人に係る事業

定款の事業	事業の内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者の生活支援に係る事業(1)	認定調査事業(面接)	通年 9時~17時	調査対象者 宅施設・病院 相談室	6名	障害(児)者  141名	
	生活相談事業(来所)	通年 9時~17時	支援センター 相談室	7名	障害(児)者・家族・ 関係者等 (延べ)575件	
	生活相談事業(電話・メール)	通年 9時~17時	支援センター	7名	障害(児)者・家族・ 関係者等 (延べ)3、660件	
	生活相談事業(同行)	通年 9時~17時	市役所・施設・ 病院等	7名	障害(児)者・家族  (延べ)365件	
	生活相談事業(訪問)	通年 9時~17時	自宅・施設・ 病院等	7名	障害(児)者・家族  (延べ)882件	
	生活相談事業(支援会議)	通年	支援センター 自宅・市福祉課等	7名	障害(児)者・家族・ 関係者 (延べ)121件	
	生活相談事業(計画相談)	通年 9時~17時	自宅・相談室 施設・病院等	6名	障害(児)者 計画相談 (延べ)633件	
	生活支援活動(オープンスペース利用)	通年 9時~17時	支援センター	9名	障害(児)者・家族・ ボランティア (延べ)4,492名	

生活支援活動 (昼食会)	月1回 10時～ 13時	あすてらす 調理実習室	9名	障害(児)者・家族・ ボランティア 6回(延べ)90名
生活支援活動 (レクレーション会)	月1回 13時半～ 15時半	あすてらす 多目的ホール	9名	障害(児)者・家族・ ボランティア 3回(延べ)42名
生活支援活動 (野球観戦)	4/20	小郡市民球場	3名	障害(児)者・家族・ ボランティア 4名
生活支援活動 (たこやき Day)	5/5	あすてらす 研修室	2名	障害(児)者・家族・ ボランティア 17名
生活支援活動 (ペタング会)	5/26 1/26	あすてらす 会議室3	2名	障害(児)者・家族・ ボランティア 25名
生活支援活動 (カラオケ大会)	6/16	あすてらす 音楽教養室	2名	障害(児)者・ボラン ティア 7名
生活支援活動 (野球観戦)	8/12	福岡ヤフオ クドーム	3名	障害(児)者・家族・ ボランティア 16名
生活支援事業 (ふれあいオリ ンピック)	10/20	小郡市体育 館	2名	障害(児)者・家族・ ボランティア 9名
生活支援活動 (忘年会)	11/24	一品香小郡 店	9名	障害者・家族・ボラ ンティア 20名
生活支援活動 (クリスマス会)	12/15	あすてらす 多目的ホー ル	9名	障害(児)者・家族・ ボランティア 20名
生活支援活動 (ボウリング 会)	2/23	楽市楽座 210 久留米 店	3名	障害(児)者・家族・ ボランティア 22名
生活支援活動 (お弁当 Day)	2/23	市外飲食店	4名	障害(児)者・家族・ ボランティア 20名

	生活支援活動 (お花見会)	3/22	あすてらす	9名	障害(児)者・家族・ ボランティア 13名	
	生活支援活動 (お散歩会)	3/22	あすてらす 周辺	2名	障害(児)者・家族・ ボランティア 6名	
	生活支援事業 (うつ病家族広 場)	月1回 13時半 ~15時	あすてらす 研修室1	2名	障害者家族 11回(延べ)64名	
	生活支援活動 (グローバルネ ットワークおご おり)	年2回 8日間	あすてらす 多目的ホー ル・調理実習 室等	2名	障害児・ボランティ ア (延べ)239名	37,000
	小郡市福祉有 償運送事業 (移送サービ ス事業)	随時	小郡市を発 着地とする 圏域	7名	障害者手帳所持者及 び登録者 247名 (延べ)5,505件	12,000
障害者への理 解を深める為 の啓発活動に 関する事業(2)	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	5/30 ~ 2日間	サポネット おごおり	7名	大原中学校生徒職場 体験 2名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/22 ~ 14日間	サポネット おごおり	7名	筑紫女学園精神保健 福祉 1名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	7/25 ~ 2日間	サポネット おごおり	7名	宝城中学校生徒職場 体験 2名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	8/7~ 24日間	サポネット おごおり	7名	フチガミ医療福祉専 門学校相談援助実習 1名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	9/2	サポネット おごおり	7名	小郡市社会福祉協議 会実習生 (社会福祉士) 1名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	10/15 ~ 8日間	サポネット おごおり	7名	九州医療専門学校精 神保健福祉援助実習 1名	

	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	10/25 ～ 16日間	サポネット おごおり	7名	九州医療専門学校精 神保健福祉援助実習 1名	
	地域交流活動 (実習生、研修生 の受け入れ)	2/4 ～ 24日間	サポネット おごおり	7名	フチガミ医療福祉専 門学校相談援助実習 1名	
	地域交流活動 (研修会への講 師)	7/24 10:00 ～12:00	小郡小学 校	1名	小郡三井郡小学校教 育研究会特別支援教 育部会 24名	
	地域交流活動 (研修会への講 師)	12/13	福岡市市民 福祉プラザ	1名	福岡県相談支援従事 者現任研修 120名	
	地域交流活動 (小郡・まごこ ろマルシェ)	6/15 2/15	小郡イオン 店“おりひめ 広場”	1名	障害(児)者・家族・ボ ランティア・関係者 50名	0
障害者団体が 行う上記の (1)(2)の活動 の支援事業	地域支援事業 (小郡市身体障 害者体育大会)	5/2	博多の森 陸上競技場	2名	身障協会員・家族・ 関係者 13名	
	地域支援事業 (身障協ふれあい オリンピック)	10/20	小郡市市民 体育館	2名	身障協会員・家族・ 関係者 24名	
	地域支援事業 (身障協日帰り 旅行サポート)	10/6	荒木観光ホ テル	2名	身障協会員・家族・ 関係者 28名	
	地域支援事業 (ワークショップ 虹会議)	4回	ワークショ ップ虹	1名	虹職員・精神障がい 者関係職員 (延べ)20名	
	地域支援事業 (精神障がい者 地域移行支援連 絡会)	2回	朝倉総合庁 舎	1名	精神障がい者関係職 員 54名	

(2) その他の事業

定款の事業	事業の内容	実施 日時	実施場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
	該当なし					